

## 【第二期中期目標期間】評価結果（案）に対する大学法人の意見について

8 頁

評価書案	<p>【全体評価に当たっての意見、指摘事項】</p> <p>次に、社会貢献等について指摘する。</p> <p>3 地道な社会貢献活動を計画どおりに着実に進めていることや、<b>メディア対応を研究し適切に対応した</b>ことにより、大学の地域貢献度ランキングにおいて東海地域で第1位（平成27年度、29年度）となるなど大学の評価や知名度の向上に大きく貢献していることは評価できる。引き続き公立大学として地域の抱える課題に敏感に向き合い、常に社会に貢献できるよう取り組みを進められたい。</p>
法人意見	<p>評価委員会の議事録によると、「日経グローバルというマスコミによる大学の地域貢献度調査を真摯に受け止め、調査内容の把握に努め、低評価となっている課題事項を分析し、工夫や改善を図るなど、適切に対応してきた」ことを評価いただいたという認識ですが、「メディア対応を研究」という表現では、「マスコミ対策などの広報戦略を練り、広報活動の推進を図った」ように受け止められかねないことから、下線部を「<b>課題事項を分析し適切に対応した</b>」と修正いただきますようお願いいたします。</p>

20 頁

評価書案	<p>【評価に当たっての意見、指摘事項】</p> <p>・大学の地域貢献度ランキング 東海地域第1位【特記事項】 ⇒ <b>メディア対応を研究し、</b>大学の評価や知名度の向上に大きく貢献したことは評価できる。引き続き社会的評価の維持・向上に努められたい。</p>
法人意見	<p>上記同様の理由により、「メディア対応を研究し」という表現では誤解を生じかねないことに加え、8頁にもあるように「地道な社会貢献活動を計画どおりに着実に進めていること」も評価いただいていることから、下線部を「<b>社会貢献活動の着実な推進や、課題事項への適切な対応により</b>」と修正いただきますようお願いいたします。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価書案</p>	<p><b>【業務実績報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる理由】</b></p> <p>中期計画で掲げた取り組みについては達成したものの、「健全で安定的な運営体制を確保する」という中期目標の趣旨を踏まえた場合、第二期中期目標期間において附属病院の経常損益が平成27年度以外は赤字であったことからA評価が妥当であると判断した。</p>																				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">法人意見</p>	<p>第一期と第二期の経営状況を比較すると、減価償却費は6年間の合計で約61億円増加し、また、診療報酬のマイナス改定、人事委員会勧告による人件費の増、消費税増税などの外的要因も経営状況に大きく影響を与えました。さらに、運営費交付金は6年間の合計では約29億円減少しました。もし平成27年度からの3年間で計15億円の追加措置をいただかなければ、6年間で44億円も減少することとなり、大変厳しい状況となっておりました。</p> <p>附属病院としては、現状の評価結果（案）にも、救急医療体制、東棟（喜谷記念がん治療センター）、総合周産期母子医療センター、手術室の増室など医療体制の強化を図ってきたことが特筆すべき取り組みに多く記載されていることに加え、病院長のマネジメントのもと経営と運営の改善にも着実に取り組んできました。その結果、診療収入（6年間合計で約390億円の増加）や新入院患者数、紹介患者数、救急搬送件数などの各種指標は着実に増加させてきております。</p> <p>このように第一期に比べて第二期は非常に経営環境が厳しい中、上記のような経営改善の取り組みにより診療収入も大きく増加させ、一定の赤字に留めたことをご理解いただきたいと考えております。</p> <p>第一期と第二期の経営状況の比較</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> <table border="1" data-bbox="359 1182 1350 1525"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>第一期 計</th> <th>第二期 計</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療収入</td> <td>107,710</td> <td>146,741</td> <td>39,031</td> </tr> <tr> <td>運営費交付金</td> <td>7,468</td> <td>4,571</td> <td>▲ 2,897</td> </tr> <tr> <td>減価償却費 ※</td> <td>3,904</td> <td>9,964</td> <td>6,060</td> </tr> <tr> <td>損益</td> <td>3,358</td> <td>▲ 468</td> <td>▲ 3,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>※資産見返戻入を除く損益に影響を与えるもののみを記載</p> <p>※上記の理由から、以下のように評価書案を修正いただきますようお願いいたします。 (修正案)</p> <p>中期計画で掲げた取り組みについては達成した、<b>厳しい経営環境の中、診療収入を着実に増加させてきたことなど経営改善の努力は評価できるもの</b>、「健全で安定的な運営体制を確保する」という中期目標の趣旨を踏まえた場合、第二期中期目標期間において<b>ける</b>附属病院の経常損益が平成27年度以外は赤字であったことから<b>鑑みると</b>A評価が妥当であると判断した。</p>	年度	第一期 計	第二期 計	差	診療収入	107,710	146,741	39,031	運営費交付金	7,468	4,571	▲ 2,897	減価償却費 ※	3,904	9,964	6,060	損益	3,358	▲ 468	▲ 3,826
年度	第一期 計	第二期 計	差																		
診療収入	107,710	146,741	39,031																		
運営費交付金	7,468	4,571	▲ 2,897																		
減価償却費 ※	3,904	9,964	6,060																		
損益	3,358	▲ 468	▲ 3,826																		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価書案</p>	<p>【評価にあたっての意見、指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己財源の確保〔特記事項〕〔91〕〔95〕</li> </ul> <p>⇒ 実習関連経費の見直し、<b>有償貸付施設の拡大</b>や料金改定を行うなど自己財源の確保に努めている点は評価できる。運営費交付金の算定ルールに一定の経費削減率が導入されていることを踏まえると、自己財源の確保は欠かせないため、さらなる取り組みに期待したい。<b><u>なお、施設貸付料金の改定は時に社会貢献、地域貢献と相反関係になる場合もあることが考えられるため、バランスを取りながら引き続き取り組みを進められたい。</u></b></p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">法人意見</p>	<p>「有償貸付施設の拡大」とありますが、貸付対象として明示する施設の拡大だけでなく、受付時期の前倒しや、様々な場での周知による、貸出し件数の拡大にも努めておりますので、「<b>施設の有償貸付の拡大</b>」に修正いただきますようお願いいたします。</p> <p>基本的な考え方は、「施設の貸出し等の利用促進」により、財務内容の改善をはかりつつ、公共的・公益的な各種資格試験等に貸付をすることで社会貢献を行うものですから（なお施設の貸出しについて「地域貢献」という言葉は使用していません）、適正な料金で、利用の促進・貸付の拡大を進めていくものと認識しており（監事からも「今後も適切な貸付料とするため、一定期間ごとに不動産の評価を行うなどにより、改定を検討すべき」との意見をいただいております）、評価書案も同様の趣旨と存じますので、それが明らかになるよう、次のとおり修正をお願いいたします。</p> <p>（修正案）</p> <p>なお、施設貸付料金の改定は<b>については、適切な評価のもと、適正な料金となるよう、今後も検討しながら、時に社会貢献、地域貢献と相反関係になる場合もあることが考えられるため、</b><del>バランスを取りながら引き続き</del><b>施設の貸出し等の利用促進の</b>取り組みを進められたい。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価書案</p>	<p>【評価にあたっての意見、指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標の達成</li> </ul> <p>⇒ 純資産比率、流動比率、経常利益比率など<b>計画</b>を達成できなかった項目について、原因をしっかりと分析し、第三期中期目標期間における財務内容の改善に活かしていくことを期待したい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">法人意見</p>	<p>数値目標は、それ自体を最終目的とするものではなく、健全な法人経営を行なうための、財務内容の改善の目安・指針であると認識していますので、下線部を「<b>目標</b>」に修正いただきますようお願いいたします。</p>